

令和6年 3月27日

府中市議会

議長 手塚 としひさ 様

府中市議会 生活者ネットワーク
市議会議員 奥村さち子

行政視察について（報告）

このことについて、次のとおり報告します。

1 日 時 令和5年11月13日（月）

2 視察地及び視察事項

視察地：神奈川県大和市健康福祉部おひとりさま政策課（大和市鶴間1-31-7）
終活支援事業について

3 視察者 奥村さち子（生活者ネットワーク）

4 視察内容及び所感
別紙のとおり

○大和市の特徴 人口：約 24 万人 面積：27.09 m²
緩やかな人口増加が継続、県内では高い人口密度
80 の国と地域の外国人が居住

○終活支援事業の取り組み経緯

一人暮らしの増加により、死後の財産と葬儀や納骨などの心配が課題であり、2016 年に福祉施策として生活保護所管課が担当となり、終活支援事業をスタート

⇒ 2018 年、所管を健康福祉総務課に移し、「おひとりさまなどの終活支援事業」としてリニューアル。対象を資産および親族の有無を問わない市民に拡大

○終活支援事業の内容

① 相談支援

「わたしの終活コンシェルジュ」が相談対応
市内の「協力葬祭事業者」を紹介し、生前契約の支援
司法書士など、法律専門家へつなげる
親族の代わりに、死後のお墓などの情報を知人等に知らせる
＊2023 年の相談件数は 9 月末で 192 件、登録はのべ 67 名

② 終活支援登録

登録者に対し、市は登録カードの発行、葬祭事業者との情報連携、登録者の知人に対し死後の情報提供

③ 専門家相談・遺品整理支援

・相談を受けた市は、司法書士会事務局に相談内容を伝え、適任の司法書士を選定し相談者につなげる
・遺品整理は、生前契約ができないが、市は大和市環境事業協同組合に見積もりを依頼し、遺族となりえる人に通知する

④ エンディングノートの配布

⑤ 終活クイズ

「終活ニュース」にクイズを掲載。終活の啓発のため、コミュニティなどでクイズを活用してもらうこともある。回答は市に応答する方式。

⑥ おひとりさまの遺贈寄付

大和市へ死後に財産を寄付したいという意思がある人への相談、サポート

○おひとりさま政策課 予算 2023年度 1,674,000円 (職員体制 5名)

終活支援事業以外に、

- ・おひとりさま政策の企画立案
- ・おひとりさまに関する調査・情報収集 (アンケートなど)
- ・講座・講演の開催

アンケート調査は、

介護予防アンケートの対象者である 65 歳以上の要介護認定を受けていない人で、「気を配ったり、思いやったりしてくれる近くに住む親族がいない」と回答した一人暮らしの人を対象として行っている。

2023 年度の調査では、回答率が 63.3%

必要な終活支援は「身の回りの物の整理」「葬儀に関すること」「お墓に関すること」「遺言書」の順で多い

参加し合い終活イベントは「終活個別相談会」「終活講習会」「終活カフェ」「エンディングノートの書き方」の順で多い

その他、「これ一冊あればひとり暮らしもひと安心 生活お役立ちガイド」を作成

【所感】

大和市の終活支援事業は、市長発の取り組みとのことだが、2021 年に「大和市終活支援条例」を制定し、継続的な取り組みで市民への終活への啓発、関心が拡がっている。

相談件数は増え、高齢者だけでなく、30 代、40 代、50 代の相談も増えている。一人暮らしの不安は高齢者だけではないことがうかがわれる。不安の内容はさまざまであるが、それを受け止めるコンシェルジュの存在と、アンケート調査を行ない、市民からの声を事業に反映させていくことが、関心の高まりにつながっていると思った。

身寄りのない人、一人暮らしの人を含めた市民の尊厳を、死後においても尊重するための支援は、自治体として求められることと考える。

